

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
中村忠行	1	町の景観づくりの取り組みは。	① 景観を阻害している事案と対策は。 ② 景観に配慮した公共施設の利活用再編と新規施設計画の方向性は	
大場洋介	1	頻発する災害等への対応強化について	猛暑や大雨など異常気象の発生には、地球温暖化の影響がある。自然災害の多様化や激甚化から町民の命と暮らしを守るためのハード・ソフト両面からの防災・減災対策の取り組みを更に加速させる必要がある。令和5年に改訂した金山町防災計画の更新や複合災害への備え。また政府が6月に閣議決定した「第一次国土強靱化実施中期計画」等の5か年加速化対策への具体的対応をどう推進するのか。 ① 現状での防災・減災対策の課題を町長に伺う。 ② 複合災害のリスク回避策は。 ③ 災害対応車両登録制度への対応は。 ④ インフラ老朽化による事故防止のための予防保全は。 ⑤ 障がい者や外国人に配慮した情報伝達手段の整備は。	
	2	観光戦略と地方創生について	防災・地方創生・観光を加速する拠点を形成するため、全国の道の駅を対象にした支援事業が展開されている。道の駅の運営を単体で考えるのではなく、災害時の救援拠点の役割や観光振興の課題を戦略的に解決する拠点に関しての町長の見解は。	

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
須藤典夫	1	米騒動から金山農業の施策を検証する	(1) 認定農家の会総会の席上、会員から「認定のメリットがない。認定農家が減っている。」との意見があった。農業者の認定にあたっては5年間の計画書をもとに認定される制度である。認定されたことで農家は主に機械の購入等で補助事業を活用してきている。農業を続けるうえで農機具等の購入が経営に大きな負担になっており、農業を止める動機にもなる。 現在、県の各種補助事業は3割補助が一般的であるが、5年間の計画が達成された認定農家には町単独の上乗せし、5割補助となる積極的な支援策を考えてはどうか。 (2) コメ価格高騰で農業や農家の事情が連日報道の主役となっている。世論の高まりを受け、与野党問わず日本農業を守る施策に動き出すことを期待したい。 政府の施策を待たずに、すでに新たな農業の取り組みも始まっており（スマート農業、田んぼダム、カーボンビジネス、乾田直播、有機農業）と多岐にわたっている。販売形態についても農協出荷に止まらず食品企業とのマッチングによる産地化、海外販売、道の駅などの産直と多様化している。 これらの動向への対応も積極的に取り組んで頂きたいがどうか。	
沼澤道也	1	平和教育について	(1) 本年の慰霊祭の方法が変化するがその内容は。 (2) 町における平和教育、運動の今後をどう考えているか。	

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
五十嵐優一	1	異常気象に対応したまちづくり（取り組み）について	(1) 異常気象（気象変動）時の対策について 猛暑・干ばつなど、人々の生活に大きく影響するため、気象変動に具体的に対策を講じることが目標とされています。極端な気象や天候不順は、農作物の不作や自然災害をもたらします。 ① 高温に対する支援について （金山町高齢者等エアコン設置助成事業、水道水などを含む。） ② 渇水等に対する支援について （金山町渇水対策本部、農作物渇水対策緊急支援などを含む。）	
	2	災害に強いまちづくり（取り組み）について	(1) 災害時の被災者対策について 被災者の生活支援に寄与することを目的とする「金山町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書」は、災害時応急対応活動として行うボランティア活動を円滑に実施するために、役割と協力事項、費用負担等を定めています。 ① 災害ボランティアセンターへの支援体制について	